



ハチ月のハチの話

8月はスズメバチの活動の最盛期です。ハチが近くで飛んでいるのを見る機会も増えるので、ヒヤッとすることもあるのではないのでしょうか。

越冬を終えたスズメバチの女王は、春先に一匹で巣作りを始め、徐々に働きバチの数を増やします。7～8月頃には巣作りをする個体数が多くなるため、巣が急速に大きくなります。特に巣の引っ越しを行うキイロスズメバチには要注意です。引っ越し前の巣は土中や朽木の中等の安定した環境で目立ちにくい閉鎖空間に作るのですが、手狭になると雨で濡れない開けた場所に巣を作って引っ越しします。多数で一気に巣作りするので、何もなかった場所に唐突に大きな巣ができてびっくりするなんてことも。人のいる建物の内側や軒先等に作ることも多いので、ハチ

が飛んでいる場合は行き先を確認しておきましょう。

スズメバチの駆除は、巣を撤去するのが一番有効な方法です。巣の場所がわからないけれど、飛んでいるハチをどうにかしたい、という場合には、スズメバチの誘引捕獲器を使う方法もあります。一番有効な使い方は、春先に設置し、これから巣を作る新女王を駆除することですが、今の時期に設置すると、全滅は狙えないものの、飛んでいるハチや仲間を引き連れて戻ってくるハチの数を



図3 スズメバチ誘引捕獲器



図4 設置した誘引捕獲器



図1 キイロスズメバチの巣



図2 セグロアシナガバチの巣

減らすことが期待できます。

巣の撤去作業はハチに刺される可能性や場所によっては高所作業になることもあり、危険が伴います。自力で解決せずに、知識と技術を持った業者に依頼するようにしましょう。

また、料金等でトラブルになったという話をよく耳にします。一般的なハチの巣の駆除の価格は、条件によってかなり変動します。例えば、スズメバチとアシナガバチでは巣の形や大きさが違うので対処法が変わりますし、高所や天井裏のような所にあると、必要な資材や手間が増えるため、価格が割増になることが多いです。生活の動線の中にハチの巣があるとなると、怖くて早く取ってほしいと焦るかと思いますが、信頼できる業者に依頼しましょう。

今月の
豆知識

ハチに関わりのある虫 ヒラズゲンセイ

皆さんは「ヒラズゲンセイ」という虫は知っていますか？ 赤いクワガタのような見た目ですが、クワガタではありません。一見、ハチとは何の関係もないような虫ですが、実はクマバチに寄生するという、切っても切れない関係性の持ち主なのです。

クマバチは木材や植木、竹に穴をあけて巣を作ります。

ヒラズゲンセイはその巣に侵入して卵を産み、産まれた幼虫はクマバチが集めた花粉等を食べて成長します。幼虫の期間にクマバチの体に乗って外出し、運が良ければ子育て中の別のクマバチに乗り替えるという記録も。



ヒラズゲンセイ成虫

蛹になる時は巣の奥に部屋を作り、成虫になるまではその部屋の中で生活します。こんなハチに頼りきりで運の要素の多い不安定な生態のせいか、成虫になれる数が少ないため、数千個もの卵を産んで一握りの成虫で子孫を残す戦略で世代交代をしていきます。

ヒラズゲンセイは日本では九州四国の南に分布し、本州にはいないとされていましたが、最近では北上して滋賀や京都でも確認されており、つい先月には弊社の本社のある岡山市の住宅街でも見られました。体や脚の関節から出す体液には、有毒物質が含まれており、触ると炎症を起こす恐れがあります。特に子どもには興味を惹かれる目立つ見目をしていますが、触らない、もしくは触らせないように注意してください。